

名古屋高速道路公社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

玉島信用金庫(理事長 宅和 博彦)は、このたび、名古屋高速道路公社が発行するソーシャルボンド(以下「本債券」)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト(ソーシャルプロジェクト)の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則2020に適合する旨、格付投資情報センター(R&I)からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は、同公社高速道路の建設(新設)、改築に係る新規資金又は借換資金に充当され、同公社の高速道路事業を通じて、国連の策定する「持続可能な開発目標(SDGs)⁽²⁾」の達成に寄与します。同公社の高速道路事業は、事業区分「手ごろな価格の基本的インフラ設備」に対応し、名古屋都市圏を中心とした「一般の人々」が対象となり、更に災害発生時にはその中でも特に「自然災害の罹災者を含む弱者グループ」が対象となります。

当金庫は、本債券を始めとしたソーシャルボンド・グリーンボンドへの投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

〈本債券の概要〉

銘柄	愛知県・名古屋市折半保証 第154回名古屋高速道路債券
年限	5年
発行額	80億円
利率	0.03%
発行日	2021年2月5日

(1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

本件に関するお問い合わせ先

経営企画部 TEL : 086-526-1581

E-mail : info@tamashin.co.jp